



見たものすべてが感動と驚きの連続！
●相良優奈さん

海外に行くことや、一週間家を離れることなど、初めてのことがばかりですごくいい経験になりました。最終日には、リクエストをしたエル・アテネオに行きました。エル・アテネオは世界で2番目に美しい本屋さんと言われており、もともとは劇場だったそうで、劇場ならではの飾りだったり、その中に本棚があったりする不思議な場所でした。この貴重な一週間を大切にこれから的人生に役立てて行きたいです。



言葉の壁を越えてコミュニケーションがとれた
●太田陽貴さん

大使公邸や日本人学校、オリンピック委員会や日亜学院を訪問しました。どこも簡単には行くことができないところばかりで、長田小学校や境町との交流があったこそだと思いました。今回の派遣で、つながりを持つことの大切さを感じました。アルゼンチンの人たちが日本人に対して親切なのは、昔の日本人たちの努力あってこそだということを知りました。僕も今後の交友関係を更によくするために、今回学んだアルゼンチンの良さをみんなに伝えていきたいと思います。また、外国の人に日本の良さを伝えていけるよう努力したいです。



この経験を必ず将来に役立てたい
●関こはるさん

7日間を通してとても思い出に残る楽しいアルゼンチン派遣事業でした。特に印象に残った場所は、「カミニート」という場所です。その場所には、カラフルな家がたくさんあり、絵なども飾ってありきれいでした。今回家族に頼らず自分たちで考えて行動し、友達と協力して活動することができたと思います。小学生の私達にこのような貴重な体験をさせてくれた橋本町長や、サポートしてくださった方々、本当にありがとうございました。



町長！夢を叶えてくれてありがとうございます
●野村暖武さん

アルゼンチンの日の集いの時、町長に勇気を出してお願いをしたことが実現しました。アルゼンチンでは日本人学校で、境町や長田小学校のことを紹介して、質問タイムではたくさん質問をしてくれて、『カルナバリート』というダンスと一緒に踊り、とても仲良くなることができました。一生の自慢になると思います。今回、僕達の思いを汲んでいただき、本当にうれしかったです。僕の夢を叶えてくれた町長さんには、本当に感謝しています。いつか世界の人達と交流できるようにしっかりと勉強していきたいです。

アルゼンチン派遣
7日間

5年ぶり！

境町×アルゼンチン 国際友好交流

長田小の児童8名をアルゼンチン共和国へ派遣

2月3日～2月9日



アルゼンチンへ
Argentina

「僕もアルゼンチンへ行きたい」児童の願いが実現

このアルゼンチン派遣事業は、90年以上交流の続いている長田小学校とアルゼンチン共和国とのつながりをより深いものとするために始まりました。その後、コロナによって一時交流が中止となっていました。しかし前回のアルゼンチンの日の集いの際に、「僕はずっとアルゼンチンに行くのが夢でした。」という児童の熱い想いを受け、5年ぶりに長田小児童8名のアルゼンチン共和国派遣が実現しました。

現地では、駐アルゼンチン日本国大使の山内弘志大使の公邸を訪問し、アルゼンチンについて様々な話を聞くことができました。その後ブエノスアイレス日本人学校や日亜学院、アルゼンチンオリンピック委員会などを訪れました。2日目にはマルコス・パス市へ行き、市役所や環境保全団体の方の話を伺った後、現地の小学生と一緒にスポーツで交流しました。さらに、アルゼンチンの首都であるブエノスアイレスの市内観光では、オペリスク、五月広場、カミニート、メトロポリタン大聖堂などを見学し、アルゼンチンの歴史を学びました。

児童たちは文化や生活様式の違いなどを肌で感じる体験をしました。児童からは、「アルゼンチンの肉とコーラを飲んで、楽しい食事だった。」「アルゼンチンの方たちがとても優しく、スペイン語で話しかけると、笑顔で返してくれて嬉しかった。」「帰ったらもっと外国語を学びたい」といった声が聞かれました。今回の派遣では、児童たちが様々な場面で積極的に言葉の壁を越えて交流する姿が見られました。今後も、子どもたちの国際感覚を高められる環境づくりに努めていきます。



とても素晴らしい派遣に！ありがとうございます！



世界で2番目に美しい本屋エル・アテネオへ



カミニートの街並みを散策



化石のレプリカ作り体験



地元の小学生とサッカー



日亜学院でエンパナーダを食べました！



オリンピック委員会を訪問



素晴らしい体験のバトンが次の人たちに繋がりたい
●相良奈穂さん

日本人学校では、生徒の皆さんが学校の行事や日常生活などを紹介してくれました。私たちは長田小学校やアルゼンチンとの交流の歴史、さらには境町について紹介しました。夜にはタンゴを見に行ったり、実際に体験したりしました。とても魅力的でした。食文化や生活が異なる世界は面白いな、もっと知りたいなと思いました。そして、アルゼンチンで体験したことをいろいろな人に伝えて、私たちのバトンを次の人達につなげたいと思います。



外国の言葉を覚え、役立つ自分になりたい
●飯田莉夢さん

アルゼンチンまでは片道30時間以上という長旅で、初めての体験でとても多かったですが、その分現地で素晴らしい体験ができてよかったです。これからますますスペイン語などの外国語を覚える事が必要なんだろうと思いました。スペイン語などを知っていたら日頃困っている人を助けられると思います。今回実際に体験してみて、今の自分は全然世界のことを知れていないなと思い、私に優しくしてくれた方や、助けてくれた方のように、少しでも役に立つ自分になりたいと思います。



アルゼンチンの情熱と優しさを感じる派遣に
●中山莉緒さん

日本人学校では、アルゼンチンの伝統的な踊り「カルナバリート」を教えてもらい、楽しい踊りの交流が出来ました。日亜学院では、学校の歴史や以前長田小学校に訪問した事がある卒業生の方々と学校見学やゲームをして、とても楽しい思い出ができました。私はこの派遣事業を通して、アルゼンチンの人びとの優しさや情熱に触れる事ができた事が一番良かったです。今後、長く交流を続けていく為にアルゼンチンの友達に日本に来たら、今度は私が日本を案内したいです。



一生忘れられないアルゼンチン派遣
●太田晴貴さん

2日目は、マルコス・パス市に行きました。市役所や環境保護の方の話を聞き、昼食をとったあと、公園へ行き現地の小学生と一緒にドッジボールやサッカーをしました。フレンドリーで積極的に仲良くしてくれてとてもいい思い出になりました。この派遣事業を通して使う言語が違う人達を結ぶには通訳の仕事がとても大切だということがわかりました。これからは英語の授業にも積極的に参加し、将来少しでも英語をしゃべれるようにしたいと思います。



カミニート



ブエノスアイレス日本人学校
Buenos Aires

「カルナバリート」を一緒に！



マルコス・パス市の小学生と一緒にスポーツ交流



大使公邸
Embajada

山内弘志大使と橋本町長と派遣団で記念撮影